

市民病院 だより

地域と共に考える医療

問 市民病院 TEL 22-5211



外科医のよもやま話

外科医
加藤 浩樹

医療技術の進歩

情報革新、技術革新による 医療技術の進歩

私が医師になつた30年近く昔の外科といえば、手術手技は「見て覚えるもの」であり、執刀の機会も極めて少ないのでした。手術書の類も少なく、動画で手技を学べることはほぼ皆無でした。若手のころ、胃癌や大腸癌の手術ができるようになるまでには、とてつもない長い道のりがありました。どのように感じていきました。しかし、今の若手医師は、外科医5～6年の経験でも執刀医として十分に質の高い手術ができるようになっており、しばしば感心させられます。もちろん彼らの努力によるところが

大きいのでしょうか。インターネットなどによる情報の普及、動画などの画像技術の進歩、手術機器進歩などによる影響も大きいように思います。特に、消化器外科手術は機器を含めた腹腔鏡手術の進歩により、こ10年で革命的な進歩を遂げました。画像の高精細化と拡大視効果により、肉眼視よりも明瞭な画像がモニターに映し出されるようになり、臨床解剖の理解も飛躍的に進歩しました。当院では10年前に大腸切除から腹腔鏡下を開始しましたが、当時、東濃地区では胆囊摘出術以外の腹腔鏡手術は行われていなかつたと記憶しております。しかし、現在では日本全国の施設で、種々の腹部臓器に対し腹腔鏡手術が行われ、多くの術式で標準手術になつてきております。現在、腹腔鏡手術の進化版ともいえるロボット手術(ダヴィンチ)も普及が進んでいます。これはロボット手術とは言うものの、ロボットが自動で行う手術ではなく、遠隔操作で人間が行うものです。しかし今後、AI(人工知能)が進歩すれば、人間に代わって本当にAIが手術を行うようになるかもしれません。近い将来、外科医の仕事も大きく変わっているかもしれません。もしかすると外科医はいらなくなるかもしません。

時代をつむぐ 男と女

vol.159

「SDGsとは？」

みなさん、「SDGs(持続可能な開発目標)」についてご存じですか? 「SDGs」とは、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標のことを言います。2030年が目標の期限となっており、17のゴールと169のターゲットから構成されています。2015年の国連サミットにおいて、先進国も含め、全ての加盟国が合意しています。各国政府の取り組みだけでは目標の達成が困難であり、企業、市民社会なども含め一人ひとりの行動も求められています。

日本においても、積極的な取り組みが行われています。例えば、目標5を見ると、「ジェンダー平等を実現しよう」になっています。政府は、2016年に「女性の活躍推進のための開発戦略」を発表し、女子教育や理系分野で活躍する女性の拡大、防災分野をはじめとする女性の指導的役割への参画推進などの支援などを通じて、女性の活躍推進と質の

問 くらし人権課 佐藤
TEL 22-1128

高い成長を目指しています。

今回は、男女平等や男女共同参画の視点から取り組みの一例を紹介しましたが、他にも達成に向けた取り組みが外務省のホームページで紹介されていますので、機会がありましたらぜひ一度見てみてください。



引用:外務省ホームページより

たじみのたからもの 102

信長朱印状とやきものの生産

問 文化財保護センター 岩井 TEL 25-8633

現在文化財保護センターでは企画展「信長朱印状と陶祖の窯」を開催しています。戦国時代の武将・織田信長に縁のある古文書「信長朱印状」とやきものの歴史について紹介しています。

織田信長は永禄6年(1563)に尾張一国を統一し、同10年(1567)に岐阜城に入城しました。信長は瀬戸・美濃の両地域を領国としたこの時期、やきものの生産販売を保護する政策をしています。永禄6年に瀬戸焼壳買を含む領国内での諸郷の商人の自由往来を保障した「制札」を瀬戸に向けて出し、天正元年(1573)には加藤五郎右衛門景豊に向け大平(可児市)での開窯許可書を発行しています。さらに翌2年(1574)、瀬戸の陶工加藤市左衛門は信長に茶入を献上し、その出来を賞されて朱印状を賜りました。この朱印状には瀬戸焼物の窯は前々の通りその場所で焼くこととしてやきものの生産を保護するとともに、他の場所に窯を立ててはいけないと命じた内容です。この天正2年の朱印状が多治見市有形文化財の「信長朱印状」です。のちの由緒書によれば、朱印状

を賜った市左衛門は同業の者の妬みに耐えかね、弟の与三兵衛景光に朱印状を託したとされます(一説には市左衛門が与三兵衛景光と改名したとも)。景光は天正11年(1583)に久尻(土岐市)に移動したとされています。その後、寛永18年(1641)には子孫である半右衛門景増が朱印状を携え多治見に移動して開窯し、景増は多治見の陶祖として伝わっています。



▲多治見市有形文化財「信長朱印状」

土岐川観察館の自然だより

青と緑の物語

問 土岐川観察館 TEL 21-2151

自然を観察してみると何かが分かる

気象庁は“生物季節観測”について、観測に適した種目と現象は継続をするが、その他は廃止、特に動物のすべてを廃止しました。

自然現象や生物の様子などから天気や気候を予測することを“観天望気”と言います。

次に、山の残雪の雪形で、農業の開始や漁業の終了などを伝える風習があります。

また、古くからの伝承として「夕焼けがきれいだと次の日は晴れ」「ツバメが低く飛ぶと雨が降る」「カメムシが大発生すると厳冬になる」など多くが、今に伝わっています。

毎年、啓蟄の日にギフチョウが羽化をしたと言うニュースを見ます。多治見市での羽化は桜が咲く頃、里山でコバノミツバツツジがピンクに山を染める頃です。【写真1】

町からその光景眺めて、森の中をギフチョウが飛びことを予見し、観察の時期が来たことを知り観

察に出かけます。

さらには、環境の状態を調べる方法として、そこに生息する生物のうち、環境の変化に敏感に反応をする生物を対象に調べることがあり、その生物を“指標生物”と言います。

多治見自然の会は、市内の自然豊かな川で、水生昆虫の調査をし、川の環境の変化を調べています。
【写真2】

以上のように観察や観測は、多くの事を教えてくれます。

(文 多治見昆虫会 荒木裕之)



▲写真1



▲写真2

~市制80周年企画~

多治見 今昔物語

Vol.9

文責

多治見市図書館
郷土資料室
小木曾 尚子
Ogiso Naoko



多治見駅前通りに建てられた名鉄多治見ショッピングセンター。立ち退いた小規模店の一部はテナントとなった。多治見通運、東海銀行(現三菱UFJ銀行)の文字がみえる。昭和40年代後半。



昭和後期の駅北側出口。コンコースを通って駅の北側へ出ると、階段横に迎えの車が並んでいた。



平成9年東鉄ビルからみた駅南口。懐かしの名鉄パレ。

多治見駅前いまむかし

明治33年（1900）の中央線開業以来、多治見駅は物資の輸送拠点となりましたが、駅周辺は水はけが悪く、開発もなかなか進みませんでした。駅前整備が本格的に進められたのは、多治見市が第20回国民体育大会の会場になることが決まってからです。昭和39年（1964）に駅舎建て替え、翌年には駅前広場が完成しました。駅前通りに建てられた名鉄ショッピングセンターの4階ボーリング場「多治見スカイレーンズ」は、若者の社交場として親しまれました。

また駅一帯は、かつて中之郷村といいましたが、明治以降の市町村合併により村名が消滅。しかし近年、「中之郷」の名を復活させようとする地域の人々により、旧「テラ」の脇から池田へと続く下街道が「中之郷通り」と名付けられ、駅北口にも「中之郷」の名を冠したビルが登場しました。以前は「駅裏」と呼ばれていた駅北側も、いまではすっかり綺麗になりました。整備された駅北地区と、現在再開発の進む駅南地区、多治見駅前は市の新たな顔として生まれ変わろうとしています。

MY TOWN HOT NEWS

素敵なまちで
輝く素敵なひとたち

1



4



3



2



6



12月19日(土)

セラミックバレー シンポジウム

特別ゲストとしてシンボルマークをデザインしたクリエイティブディレクターの佐藤卓さんを招き、セラミックバレー構想を改めて理解し、地域全体へのさらなる盛り上げのきっかけとするため行われました。

1 3 4 6 民間主導 温故知新を掲げる。登壇者を含め美濃焼関係者が多く参加。

2 佐藤卓さん 5 多治見市・瑞浪市・土岐市・可児市の4市長がオブザーバーとして参加。

12月17日(木)

「新・BS日本のうた」公開収録

バロー文化ホールで多治見市制80周年とNHK岐阜放送局開局80周年を記念し行われました。市長は「新型コロナウイルス感染症でつらいことがたくさんありましたが、楽しいひとときを過ごしましょう」と挨拶しました。

7 幸せを運んでくるというピンクのうながっぽも登場。出演者と共に盛り上がる会場。



7



12月12日(土) 消防長特別査察

8|9|10 ピアゴ多治見店で防火管理体制の徹底や啓発活動として実施しました。

10



12月5日(土) 感謝と挑戦のTYK体育館無料開放デー

11|12 バドミントンや卓球の無料開放や、各種講座が開かれました。



14



12月8日(火) シトラスリボンプロジェクト

13|14|15 笠原中学校PTA家庭教育委員会が、コロナ禍で生まれた差別や偏見のない心から暮らしやすい社会を目指す活動として市長へ報告しました。活動は生徒会と協力し行われ、さらに笠原を中心としながら、今後は多治見市全体に広がることが期待されます。

市制80周年事業「きらめく水と光のオアシス」

虎渓用水広場イルミネーション

点灯期間
～2月15日(月)



点灯式 令和2年12月6日(日) 16:50～

点灯式には多くの人が訪れ、点灯と共に拍手と歓声があがりました。5年目となった虎渓用水広場のイルミネーションには、過去最多約4万個のLEDが設置されています。光のアーチや医療従事者への感謝を表現した青色のドームなど、広場や水辺にあふれて輝くイルミネーションにより、虎渓用水広場はみんなが集える水と光のオアシスとなりました。



同日開催 たわけまるけ

令和2年12月6日(日) 12:00~18:00

同日開催されたフードや雑貨のマーケット「たわけまるけ」。来場者はタイルアクセサリーや人気作家による雑貨などを楽しんでいました。



多治見市公式ユーチューブチャンネルでイルミネーションの様子を
1分動画で公開しています。

>>>





昨年、シェ・シバタと多治見市がコラボレーションしたクッキー缶がお披露目されました。

市制80周年を記念して、市の観光大使である柴田武さんの協力で実現したクッキー缶は、ユニークな外観で人気のモザイクタイルミュージアムのデザインを使用しています。デザインは2種類、制作個数は各3,000個で、現在発売中です。

販売場所 シェ・シバタ多治見本店、多治見市PRセンター、多治見駅観光案内所、モザイクタイルミュージアムの4カ所

問 産業観光課 TEL 22-1250



柴田武さんは、多治見の魅力をPRするため、公式インスタグラム「@takeshishibata」において#たけぐる(市内のグルメ情報)や#多治見観光(市内の観光情報)など、さまざまな情報を発信しています。多治見市公式インスタグラム「tajimi_official」と一緒に、ぜひフォローしてください。

また、シェ・シバタ多治見本店のご協力により、地元応援クーポン券を掲載しています。



シェ・シバタ
ホームページ



柴田さん公式
インスタグラム



多治見市公式
インスタグラム

地元応援クーポン券 期限2021.2.28
シェ・シバタ多治見本店
2,000円以上お買い上げで
200円引き(税込)
※他サービスとの
併用不可